

JEM運用・利用事業への民間活力導入 に係わる企業選定結果について

平成19年4月4日

宇宙航空研究開発機構
有人宇宙環境利用プログラムグループ
企画推進室長 山浦 雄一

1. 経緯

■ 民間活力導入の提言

- 平成16年6月の宇宙開発委員会・利用部会報告書において、ISS計画における民間活力導入(以下「民活」という。)を提言。また、JAXAの中期目標及び中期計画にて位置付け
- JAXAは、国内企業と協力して、ISS計画における民間活力導入(以下「民活」という。)の具体的検討を過去数年来実施

■ 公募型技術提案方式(RFP)による企業選定

- 平成18年10月、JAXAは、JEMの運用事業及び利用サービス提供事業を対象として民活の提案要請(RFP発出)。本年1月締切り
- また、本年1月、JEM利用に関する「ユーザ支援業務」について提案要請(RFP発出)。本年2月締切り
- JAXAは、事前に定めた評価基準及び選定プロセスに則り、厳正に提案評価及び企業選定作業を実施

■ 本年4月2日、受注企業と契約締結

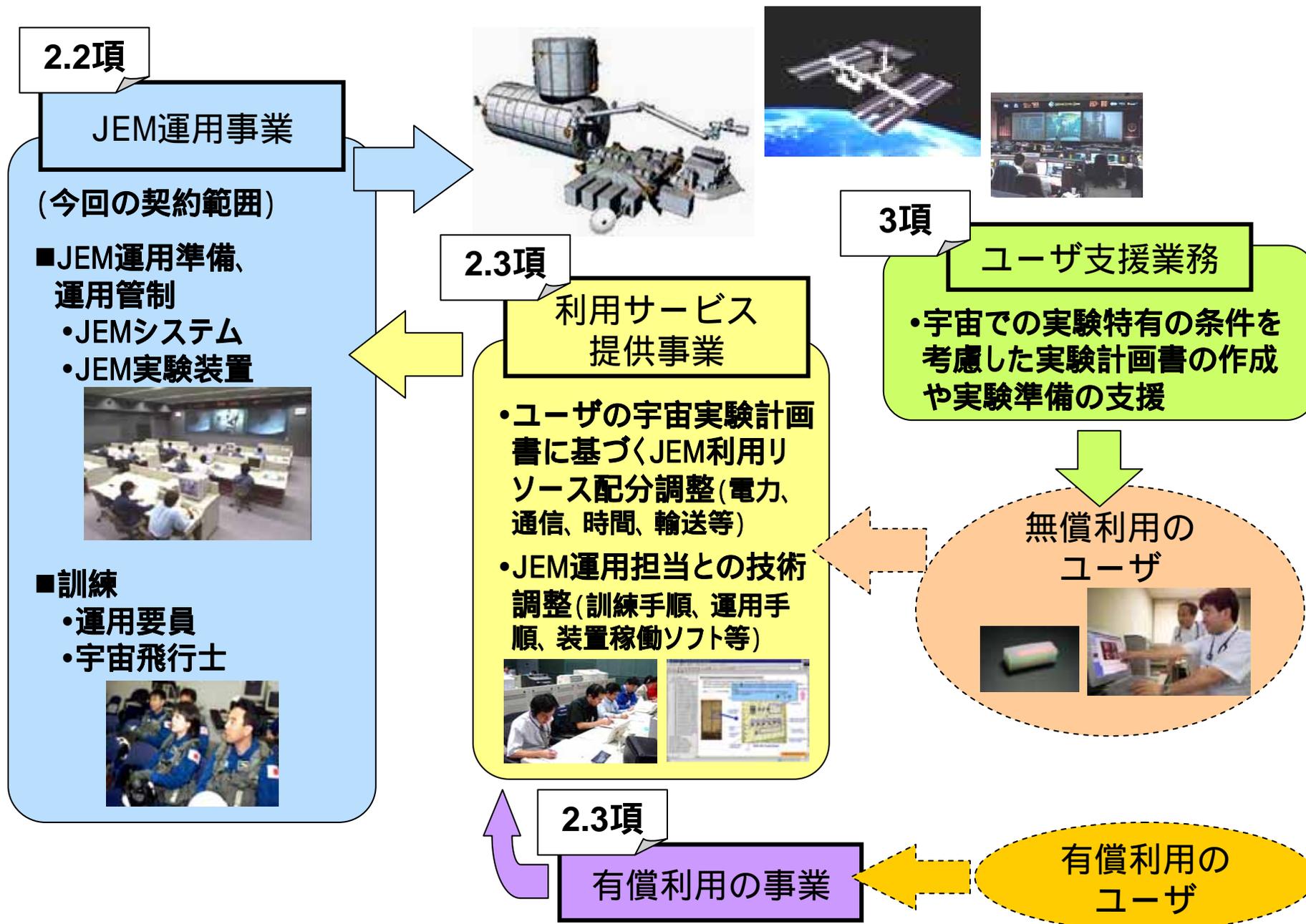


図1 ISS事業での民活に関する提案要請の範囲

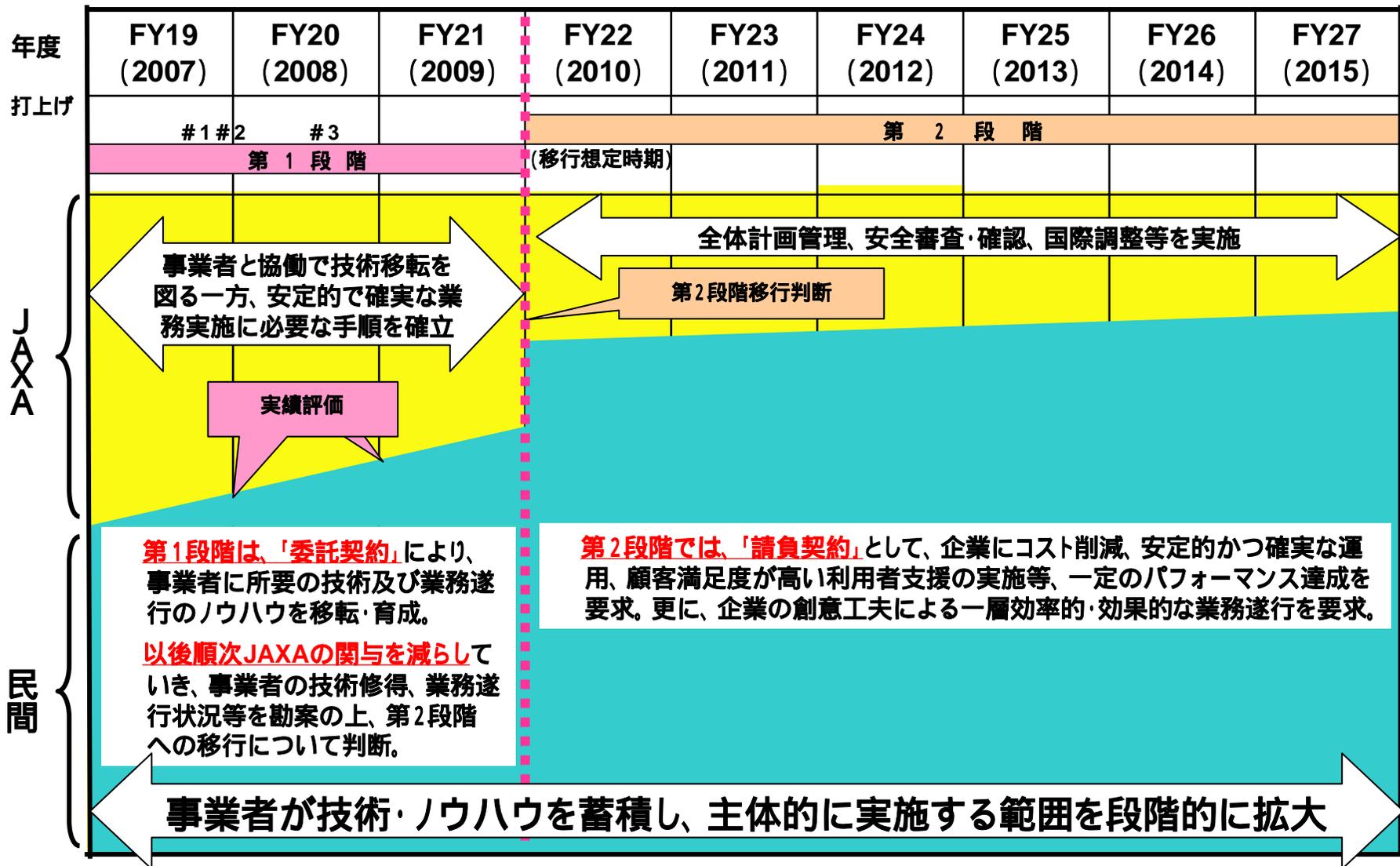


図2 JEM運用・利用の事業における民活の段階的な実現

2. JEM運用事業及び利用サービス提供事業の選定結果

2.1 受注企業選定結果

- **提案企業：** 有人宇宙システム株式会社(JAMSS)の1社
(JEM運用及び利用サービス提供業務の双方を提案)
- **提案評価：** JAXAが事前に定めた民活事業実施に必要な基本技術力及び予定価格の観点から提案内容を厳正に評価
- **結論：**
 - (1) **JEM運用事業**
 - JAMSSを選定
 - 4月2日付けで契約締結
 - (2) **利用サービス提供事業**
 - 評価の結果、契約相手方となる企業は「なし」と判断(この結果、有償利用のサービス提供を担当する企業も未決定)

2.2 JEM運用事業における今後の民活実施

民活第1段階*においては、民活第2段階**において民活導入の最大の成果が上がるよう、以下の考え方により進める。

* 平成19～22年度を目標

** 平成23年度開始を目標

- JAXAと企業の連携・協力による確実な取り組み
 - 具体的な実施計画と達成目標の策定
 - 定期的な評価の実施と実施方法・実施計画等への反映

- 要員の能力向上、標準的作業手順の確立による作業・組織の効率化
 - JEM運用の成熟度に応じた運用手順の定型化・標準化・簡素化
 - 企業運用要員の多能化・兼務促進と情報共有化による業務効率化
 - 上記を踏まえた要員・文書類の削減 など

- 下記を目標に受注企業による能力向上への取り組み
 - 第2段階における発注業務範囲の拡大
(例えば、JEM維持管理、維持設計等に係わる技術支援業務)

2.3 利用サービス提供事業における今後の進め方

■ 平成19年度の進め方

- 平成19年度の業務の実施方法(一時的措置)
利用サービス提供事業を個別業務に分割し一般競争入札、発注
- 平成20年度民活開始に向け平成19年度にRFP発出
平成19年度、作業内容の定型化・標準化等を実施
(検討にあたっては、広く民間企業と意見交換)

■ JEM有償利用の進め方

- 有償利用ユーザのニーズ把握・ビジネスモデルの検討を促進する必要
具体的な方策を検討の上、平成19年度からサービス開始を目標

(実施方策の一例) 今後詳細検討が必要

JAXAによる窓口を開設し、有償利用申込の試行的受付を開始
引き続き、JEM運用開始など有償利用実施の環境が整った段階で、本件業務を担当する民間企業をRFPで募集・選定 など

3. ユーザ支援業務について

3.1 受注業者選定結果

- **提案企業:** 財団法人日本宇宙フォーラム(JSF)の1社
- **提案評価:** JAXAが事前に定めた民活事業実施に当たって必要となる基本技術力及び予定価格の観点から提案内容を厳正に評価
- **結論:**
 - JSFを選定
 - 4月2日付けで契約締結

3.2 今後の進め方

- **民活第2段階からの業務実施**
 - 本件業務は、ユーザの宇宙実験計画設定を支援する業務で、過去のスペースシャトル等での宇宙実験を通じて経験・知見蓄積が豊富
 - 平成19年度当初から民活第2段階相当の体制・契約方式にて業務を開始
- **利用者に密着した柔軟なユーザ支援を効果的・効率的に実施**

4. まとめ

国際宇宙ステーション(ISS)計画を更に効果的・効率的に進めるため、以下の業務について、本資料で述べた進め方により、着実に民活に取り組んでいくこととしたい。

- JEM運用事業
- JEM利用サービス提供事業、及びJEM有償利用
- ユーザ支援業務